

プログラム

<<欧州ホライズン 2020 プログラムと EERA 洋上風力研究開発>> 東京-5月28日

全体プログラム概要

合同セッション:	09:30-11:00	会場:	東京国際交流館 プラザ平成
分科会セッション:	11:00-12:00	会議室:	メディアホール
昼食:	12:00-13:00	コンタクト:	
分科会:	13:00-17:30		Dr. Hans Christian Bolstad , SINTEF Energy Research
懇親会:	18:00-20:00		松本 宏 、日欧産業協力センター Dr. Svein Grandum , ノルウェー王国大使館 / Innovation Norway

背景:

日本政府は再生可能エネルギーのための5~10年にわたる戦略的取り組みを行おうとしています。ホライズン2020への参加も関連してきます。ノルウェーは欧州エネルギー研究組合(EERA)による風力発電共同研究プログラムによってさらに強化されたホライズン2020プログラムに参加しています。またノルウェーの数多くの研究所がホライズン2020の前のFP7プログラムや他のプログラムへ参加してつちかってきた長年の経験もあります。

目的:

日本の風力発電の研究開発コミュニティ、産業界は世界的に見たらまだ規模が大きくありません。日本の産業界のホライズン2020への参加、特に洋上風力や送配電網に関連した課題のプログラムへの参加促進を目的とし、将来への飛躍を図ることを目標とします。

本分科会セッションは日欧産業協力センターも共催いたします。

議長:	松本 宏, 日欧産業協力センター Julie Christiansen, ノルウェー研究評議会
13:00-13:05	議長による議題の簡単な紹介
13:05-13:25	ノルウェーのホライズン2020への参加について Kari Vaalund, 教育省 Jan-Arne Eilertsen, ノルウェー研究評議会
13:25-13:45	日本の研究グループとの研究連携の機会について 松本 宏 日欧産業協力センター
13:45-14:15	欧州エネルギー研究組合(EERA)による風力共同研究 John Olav Tande SINTEF エネルギー研究所
14:15-14:30	日本の風力発電産業界からみたホライズン2020 洋上風力発電プロジェクトへの日本からの参加の可能性について 上田 悦紀 日本風力発電協会
14:30-14:45	休憩時間 (コーヒー)

プログラム

《《欧州ホライズン 2020 プログラムと EERA 洋上風力研究開発》》

- 14:45-15:15** 日本から EU フレームワークプログラムへの参加例：CO2CARE（CO2 サイト貯留に関する環境評価研究）プロジェクト
薛自求 主任研究員 地球環境産業技術研究機構
- 15:15-16:30** 質疑応答、討議、連携の可能性について

セッション終了後会場で懇親会を開きます。軽食、飲み物を用意いたします。